

# 4. 塩浜3丁目周辺地区に求められる機能

前述の上位計画や地区を取り巻く状況、地区の課題等を踏まえ、「将来の臨海部の目指す姿を見据えた土地利用を進める」という視点と「塩浜3丁目周辺地区の整備の基本的な考え方」について、次のとおり整理しました。

## 臨海部のめざす姿\*

### 【川崎市総合計画】

羽田空港との近接性を活かしながら、国際競争力を有し、日本経済の発展を牽引する高度な産業集積と新産業を創出するオープンイノベーションの拠点形成を目指す

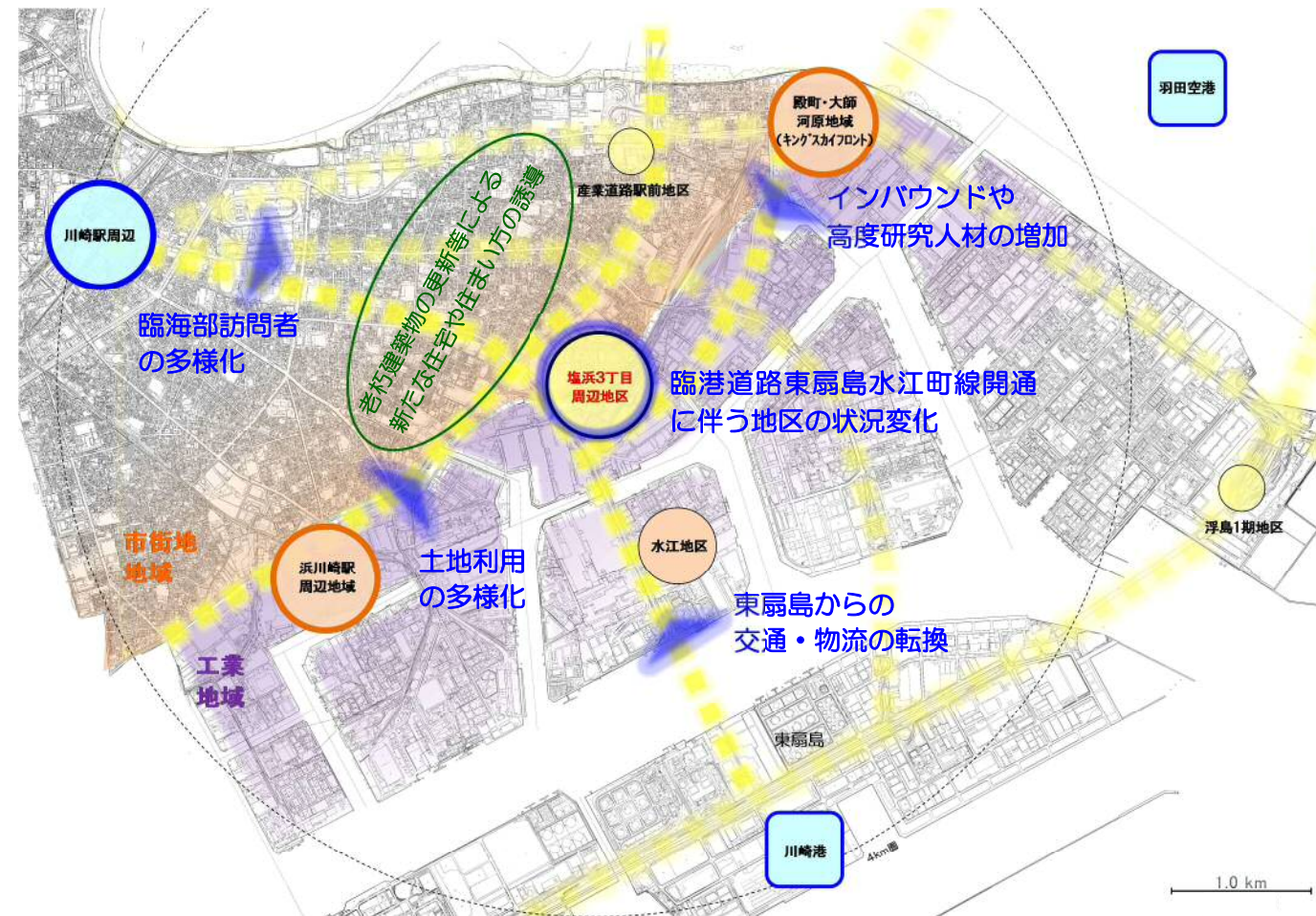
### 【川崎市都市計画マスタープラン】

本市経済を牽引し、就業地でもある臨海部では、付加価値の高い、活力ある産業集積の促進などにより、国際的な課題解決に貢献する、環境と調和した産業の持続可能な発展をめざすとともに、人材育成や多様な就業が可能な社会の実現を目指す

※川崎臨海部の30年後を見据え、目指すべき将来像や、その実現に向けた取組の方向性を示す「(仮称) 臨海部ビジョン」を平成29年度までに策定予定

## 地区の立地特性や周辺動向など

- 戦略拠点間を中継するエリアとして、**交通面や臨海部に不足する緑・アメニティなどを補完するサポートエリア**として位置付けられている
- 市民の生活する市街地地域と臨海部の工業地域を中継し、臨港道路東扇島水江町線の整備により**川崎駅周辺と東扇島を結ぶ経路の中間点**に位置する
- 産業構造転換に対応した、企業再編や生産拠点の統合による土地利用転換
- 国際戦略拠点キングスカイフロントを中心に国内外から高度研究人材等の就労や訪問が増加
- 観光やレジャー目的等で、これまで臨海部に縁のなかった人の訪問が増加



## 『視点』 将来の臨海部の目指す姿を見据えた土地利用を進める

…臨海部における産業・社会基盤等の動向や目指す姿を踏まえ、臨海部が本市の力強い産業都市づくりの中心として持続的に発展し、産業と環境が高度に調和した地域として日本の成長を牽引するために、塩浜3丁目周辺地区の土地利用において考慮が必要となる視点

- ★新たな成長産業・高付加価値産業を担う企業の立地誘導や臨海部立地企業の持続的な産業活動の支援
- ★市民や就労者、高度人材、羽田空港からのインバウンド等の臨海部における人材の多様化に対応した魅力ある地域づくりおよび親しみやすい臨海部としての更なるイメージアップ
- ★日本の経済発展を牽引し、世界に誇る川崎臨海部に相応しい地域環境の整備・アメニティ向上

## 塩浜3丁目周辺地区の整備の基本的な考え方

…塩浜3丁目周辺地区整備基本方針（平成25年3月）を基に、地区を取り巻く状況等を踏まえ、臨海部全体の活性化や魅力的な地区形成を図るための整備の基本的な考え方

- ★臨海部の活性化に資する機能導入
  - ・本市のライフラインを支える機能は確保した上で、市有財産の有効活用により機能を導入
  - ・臨空・臨海都市拠点である殿町・大師河原、浜川崎駅周辺地域や、その他の地区などを支援補完する機能
- ★臨海部の産業の成長を支える交通機能の強化
  - ・地区の地理的特性を活かし、臨海部の交通利便性に資するバス交通機能の強化
  - ・臨海部の産業活動を支える交通・物流を支援する機能の導入
  - ・臨港道路をはじめとする周辺道路整備の動向を踏まえ、交通機能強化や沿道環境改善に取り組む
- ★安全・安心、快適で魅力を感じる地区形成
  - ・周辺の既成市街地などと共生した市民が利用する施設を中心とした開かれた地区形成
  - ・緑化推進や臨海部の多様化する人材の交流による臨海部のイメージアップなど潤いのある地区形成
  - ・地球環境貢献や災害に強い地区形成

# 4. 塩浜3丁目周辺地区に求められる機能

「将来の臨海部の目指す姿を見据えた土地利用を進める」という視点と「塩浜3丁目周辺地区の整備の基本的な考え方」の関連性から地区に求められる機能について、以下のとおり抽出しました。

